

病院に携わる方へ

いち
ーから学ぶ
病院経営

マネジメントスキルUP



地域医療を支える

四国病院経営プログラム

SHIKOKU HOSPITAL MANAGEMENT PROGRAM

高知大学・香川大学・高知工科大学・高知県立大学 連携事業 文部科学省 課題解決型高度医療人材養成プログラム採択事業

2021年度
受講生募集

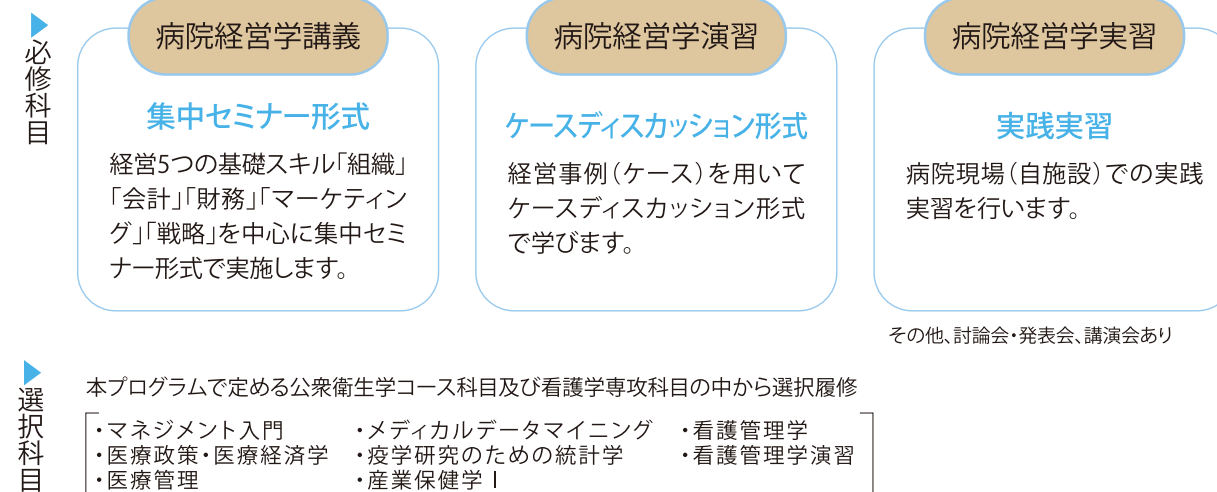
四国病院経営プログラムでは1年間で 病院のトップマネジメントと OODA (Observe, Orient, Decide, Act) を実践できる 現場責任者を養成します

高知大学医学部は、文部科学省の課題解決型高度医療人材養成プログラム事業に選定され、香川大学・高知工科大学・高知県立大学と連携し、平成30年4月より病院経営学のプログラムを開設しました。このプログラムは、病院長、副病院長などの経営責任者のみならず、医師、看護師、薬剤師、その他の医療従事者、事務担当者など多職種に対応し、病院経営に特化した人材育成を行います。

対象者: 病院長、副病院長などの経営責任者、医師、看護師、薬剤師、
その他の医療従事者、事務担当者など

経営学で用いられる考え方を 講義とケースメソッドを通して学び、 現場の課題を解決する能力(実践力)を養います

●プログラム構成



●修了要件

1年間で、本プログラムで定める科目から、**必修科目3科目、選択科目(8科目から)2科目以上履修**し、合格すること。本プログラムの修了者には修了証を授与します。あわせて、高知大学から学校教育法第105条の規定に基づき履修証明書(Certificate)を交付します。

●講師陣

第一線で活躍している経営者や大学講師、コンサルタントを配置しています。

●開講時間など

授業は、集中講義や実習等を除き、**基本的に夜間(18:00以降)開講**です。
基本的にオンライン形式で行い、状況により対面形式も併用します。詳細は、それぞれの授業案内をご覧ください。

現場のことも理解している 第一線で活躍中の 経営者、大学講師、 コンサルタントが講師です。



Hai Eishu

褒 英洙

主な授業科目：病院経営学演習（ケースメソッド）
専門分野：病院経営、ヘルスケアビジネス戦略

経営現場で重要なのは関係者の「納得解」です。本プログラムでのケース（経営事例）ディスカッションでは様々な職種が参加し多様な視点を得ながら「納得解」を探していきます。ぜひ熱い議論を楽しんで下さい。

ハイズ株式会社代表取締役、高知大学客員教授、
慶應義塾大学特任教授



Shinichiro Monobe

物部 真一郎

主な授業科目：病院経営学講義
専門分野：Entrepreneurship / Venture finance / Digital Health

経営には絶対の正解はありません。当プログラムで、課題に直面した際に活用する、思考を整理するためのフレームを身に着け、直感で行う経営から、考える経営に変化させましょう。

高知大学医学部特任准教授、
株式会社エクスメディオ取締役



Narufumi Suganuma

菅沼 成文

主な授業科目：病院経営学実習
専門分野：産業医学、環境医学、衛生学

四国病院経営プログラムは、地域医療を支えている病院のトップマネジャーと現場責任者を同時に育てようとする挑戦的な取り組みです。最高の講師陣とともに病院経営の真髄を極めましょう。四国以外からのご参加も歓迎します。

事業推進プロジェクトリーダー、
高知大学医学部長・
大学院総合人間自然科学研究科医科学専攻長



Hiroshi Uemura

上村 浩

主な授業科目：病院経営学講義
専門分野：財務諸表監査

本プログラムは、経営の基礎理論の会得と、ケースにおける応用が可能となるよう設計されています。これらを通じ、皆さんが抱える経営課題の解決に向けて共に考えていきましょう。

高知工科大学経済・マネジメント学群准教授



Taeko Moriki

森木 妙子

主な授業科目：看護管理学・看護管理学演習
専門分野：看護管理学

マネジメントは、トレーニングすることが大事。そこで病院経営学実習でトレーニングを重ね、戦略を導き出しましょう。さらに職種や経験の異なる受講生の議論は、刺激的です。

高知大学大学院総合人間自然科学研究科
看護学専攻長

2020年度受講生に訊く、受講の

動機と抱負

動機 ▶いろいろなことに興味があり、急性期で救急も手術も病棟管理もしつつ、同時に療養、回復期リハ、老健を持たせて頂く機会に恵まれ、医療から介護までシームレスな経験ができました。経営・運営についても個人で勉強会や講演会に参加していましたが、一般中小企業が主のセミナーでした。老健ではその知識と、MSWさんに介護の仕組みを教えてもらい、毎月安定して黒字化することに成功しました。ただ所詮は一般企業向けの知識です。今回このプログラムの存在を知り、是非にも病院経営・運営に特化した勉強をしたいと思い、門を叩いた次第です。

受講途中の感想 ▶学生の時とはまた違い、新たな分野を学ぶ楽しさが実感できます。選択科目をもっと受講しておけばよかったです。

抱負 ▶specialityを極めるのも素晴らしいですが、やはりgeneralは違う意味で尊いものです。前者は将で、後者は将の将とも言えます。診療の他に経営という新たな分野を体得し、ルネッサンス時代に尊ばれた万能人の如く、医療の様々な分野で新たな世界を切り開いていきたいと思います。



（北海道）
公立芽室病院
総合診療科・脳神経外科・麻酔科
野老山 博紀 医師
ところやま ひろき

動機 ▶私は、看護部長に就任し1年が経過した頃、病院全体の経営資源をもとに病院経営を考える場に参加することが多く、経営に関する知識不足を感じていました。さらに、病院のミッションやビジョンが組織に浸透していないこと、社会の動向や顧客のニーズを捉えた経営戦略がないこと、リーダーシップの弱さに危機感を感じていました。そんな時、2019年11月に開催されたトップセミナーに参加しました。2日間のセミナーでしたが、経営やマネジメントについて新たな視点を学び、自分の課題が解決できると考え、応募しました。

受講途中の感想 ▶自分の視野がさらに広がりました。経営やマネジメントでは、現状分析から何が患者にとって、組織にとって最善か常に考える思考が身についたと思います。

抱負 ▶このプログラムで習得した知識を実践でアウトプットし、マネジメントスキルを確実なものにしたいと思います。そして、看護部長として病院経営や組織変革に取り組んでいきたいと思います。



医療法人 治久会
もみのき病院 看護部
戸田 かおり 看護部長
とだ かおり

動機 ▶私たち医師はいろいろな学会で医療に関する講演はよく聞きます。しかし病院経営についてはあまり知らずに日々送っています。私たちが医療を行えるのも健全な病院経営があってこそできることだと考えていました。病院経営や医療制度などよく知らずに医療を行ってそれが成り立っていることは驚きです。今回四国病院経営プログラムという聞きなれない講習会があるというので興味を持ちました。受講料は少し高いですが、またとない機会と思い申し込みました。

受講途中の感想 ▶参加者の方々が皆熱心で、職種も様々でいろいろな意見が聞けて勉強になります。今回は新型コロナの影響もあり、TEAMSでのweb開催です。はじめはなれないところもありましたが、意外に職場の自分の部屋から参加できて便利です。しかし財務会計となると難しすぎました。

抱負 ▶医療制度をいろいろな角度から見ることができそうです。医療費の削減と医療の質を保つためにはどうすればいいのか、人口減の高知県でどのように考えていけばいいのか、病院の存在意義を考えてみたいと思います。

高知大学医学部附属病院
災害・救急医療学講座
西山 謹吾 教授
にしやま きんご

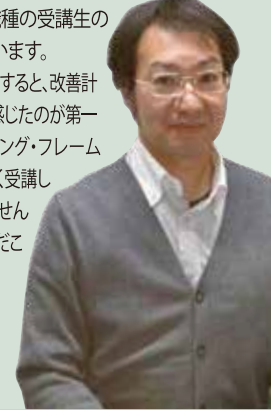


動機 ▶地域連携室で前方、後方連携をしていた私が事務長となったのは2018年の9月でした。2017年の建替えを契機とした法人のビジョン実現に向け戦略を組織に浸透させる方策に苦慮していたとき、院長から今プログラムの受講を勧められました。パンフレットを拝見すると、著名な講師の先生方に1年間を通じて体系的に病院経営やマネジメントスキルをご教示頂けること、多職種の方々と病院経営をテーマにディスカッションできることがわかり、すぐに応募しました。

受講途中の感想 ▶コロナ禍でありオンライン講義となりましたが、講師の先生方の熱意が画面越しに伝わり、ほどよい緊張感をもって受講することができています。また、演習では多職種の受講生の方々の発想や視点が素晴らしく、刺激になっています。

抱負 ▶プログラム修了生の諸先輩方の発表を拝聴すると、改善計画の立案から実行までのスピードがとにかく早いと感じたのが第一印象でした。また、改善のための戦略はマーケティング・フレームワークや財務分析を使用したものであり、まさしく受講している内容そのものでした。自身の力不足は否めませんがプログラム終了後、先輩方に少しでも近づき、学んだことを法人や地域に還元できれば良いと考えます。

（愛媛）医療法人 千寿会
道後温泉病院 事務部
緒方 祐一郎 事務長
おがた ゆういちろう



受講を終えて その後の感想、 現場での 実践について

2019年度受講 第2期生の声

1 Q きっかけ

副院長になって一年が過ぎたころ、今まで循環器の臨床しかしてこなかった私は、病院の管理職として必要な医療政策や医療管理、病院経営を深く勉強する必要を痛感しておりました。病院経営に関して詳しい知人に相談したところ、このプログラムを紹介されました。ホームページをみて病院管理職として必要な知識をすべて勉強できるプログラムであると思い応募しました。また、今治から比較的近い事、e-learningが可能な講義もある事も決め手になりました。

Q 良かったこと(内容・授業形式・先生陣など)

菅沼先生の医療政策の講義から日本の医療の問題点、今後の進む道、大変印象に残る講義でした。物部先生、上村先生、森木先生、裴先生の病院経営学、大変勉強になりました。特に裴先生の演習で学んだ「皆で話し合って決める納得解」、マネジメントのコツを学びました。

Q 現場で

まだまだ不十分ですが、各科、各部門のヒアリングの場において、実際の計算した自院の財務諸表や、機能的、収益性、生産性指標、各科の原価計算から、それぞれの今年度の短期目標を設定する事ができました。また、SWOT解析等のフレームワークを使って中長期戦略をたてる事も出来ました。実習の成果と思います。

Q もう少し学びたかったこと

各地域において、今後の医療の三位一体改革、地域医療構想、医師等の働き方改革、医師偏在対策を具体的にどのように進めていけばいいのか、具体的ににより深く勉強できたらいいと思いました。

医師

愛媛県立今治病院 循環器内科
川上 秀生 副院長
かわかみ ひでお

2 Q きっかけ

看護部長として看護部の理念、方針を示し、看護部の組織の構築・運営、病院長や管理部門への報告、提案をしていく役割を担っています。診療報酬、COVID-19等の感染管理、スタッフの育成・キャリア支援、地域連携、災害対策、医師の働き方改革に対応した業務改善等、たくさんの課題があります。自施設が地域に求められる組織になり、良質な医療・看護ケアを提供していくために病院自体も社会情勢に合わせて変化していく必要があると考えています。こうした変化の中で、看護部からも提案をしていく必要がありますが、経営や経済面に弱く、力不足を感じました。視野を広げ、医療経済・政策等を学びたく、また医療データ、看護データの活用等にも興味があり、受講しました。

Q 良かったこと(内容・授業形式・先生陣など)

講師の先生方の講義を聴けるのはもちろんですが、四国内外から直接病院経営に関わる方や、施設内外でもいろいろな企画、役割を持たれている方々が参加しており、大変刺激になりました。皆さんとても熱心で、効率性だけでなく、医療の質を大変大切にされていると思いました。

Q 現場で

現状や戦略について、フレームワークを使って分析するようになりました。今年度から看護管理学の森木先生の指導を受け、マネジメントツールを用い看護師長に目標評価に数値目標をたて、目標管理するようにしました。各部署での活動が可視化され、経営的視点を持った看護管理をするように努力しています。

Q もう少し学びたかったこと

経営学の基礎や管理会計等は難しく、もう少しゆっくり学びたかったです。経営戦略等はケースで学び、興味深かったです。

看護師

社会医療法人 近森会
近森病院 看護部
吉永 富美 看護部長
よしなが ふみ

3 Q きっかけ

理学療法士の誕生から半世紀。様々な医療政策も背景に大きく躍進しましたが、急激な拡大は質の低下を指摘され、自施設も例外なく対策を迫られています。一方で療法士養成課程や卒後教育においては経営や管理・人材育成という視点が乏しく、実務経験だけ積んでいる現状にどうすべきか困惑していました。そのような中、“OODAを実践できる現場責任者の養成”という本プログラムの目的は、一から管理運営を体系的に学べる良い機会であると感じ、身を投じる覚悟を決めました。

Q 良かったこと(内容・授業形式・先生陣など)

課題に対する視点が、不思議なほど好転しています。講義の中で、課題を“脅威”と感じるか、“機会”にとらえるか、という一説がありました。プログラムを修了できた今、課題に対する認識や心持ちまでも変化していることには、自分でも驚いています。

Q 現場で

非常に役立っています。現場の課題は日々山積しており、胸を張って解決できているとは正直言えませんが、対策がその都度発案でき、解決に向けて努力できています。課題に対する戦略、戦術について、ストレス無く多面的視点を持つことができています。

Q もう少し学びたかったこと

経営事例を通した演習です。それも当日配布される情報をもとにした演習は心身とも非常に疲れましたが、職種の異なる参加者と議論することで複眼的な考察に至り、自身が活性化されていると感じました。

理学療法士

社会医療法人 近森会
近森病院 リハビリテーション部
理学療法科
田中 健太郎 科長補佐
たなか けんたろう

Q きっかけ

2017年度より、事務部長という病院全体をマネジメントする立場へ拝命致しました。病院経営や医涼経済、組織管理を一から体系的に身につけたいと考え応募致しました。このプログラムを選んだ理由として、高知県は医療が中心部密集しており、且つ高齢化や人口減少が他県と同様に地域医療の課題となっております。そのような環境下で対策や対応、考え方を直接目で確認し、様々な立場の方と勉強するチャンスと思い応募させて頂きました。

Q 良かったこと(内容・授業形式・先生陣など)

受講して一番良かったと感じることは、登壇される著名な講師の先生方の講義とフォローアップ、医療の現場を少しでも改善したいと志の高い受講生と共に学べたことです。縁もゆかりもない、沖縄からの参加でしたが、高知の方々の温かいお言葉と親切な対応に毎回感謝の気持ちで参加しておりました。

Q 現場で

ケーススタディでのディスカッションや、フレームワークを用いた経営戦略など、医療のみならず経営での意思決定、方向性や方針を明確にする際には、貴プログラムで学んだことを実践するよう心掛けております。100%の答えを導くことは非常に難しいですが、マネジメントを実践する上で「納得解」を必ず導きだせるよう意識しております。

Q もう少し学びたかったこと

正直1年では、短いと感じた次第です。また、後半はコロナ禍で全ての方の実習報告を拝聴出来なかったのが残念です。学びは継続性や長期的な目標、明確な到達点も必要と感じておりますので、引き続きプログラム参加者や講師の先生方と情報交換、フォローアップを続けて頂けると幸いです。

事務

(沖縄)社会医療法人 敬愛会
中頭病院 事務部
大城 学 事務部長
おおしろ まなぶ



Q きっかけ

地元金融機関を定年退職後、現在の勤務している医療機関に財務を含めた経営管理全般について担当することになりました。金融機関勤務時においては、一般企業の経営・財務等に触れることが多くありましたが、「病院経営」における特殊なマネジメント等を初歩から学びたく、また、勤務している病院が遠からず、事業承継の必要性があり、今後の病院の将来を考え、少しでも役立ちたい事が動機にありました。

Q 良かったこと(内容・授業形式・先生陣など)

応募時において、所属している医療機関の規模・組織形態等が、他参加者の医療機関のそれとは大きな隔たりがあり、講義内容等をはじめ、自院に現状にマッチしないのではないかと危惧していましたが、受講するごとに、中小医療機関の職員が是非とも、当該このプログラムに参加すべきではないかと感じました。

また、全ての講師の講義が大変面白く、興味深いものでした。医療経営をはじめ、政策、データ、医療管理など、特に病院における「ケーススタディ」では、講師の講義内容はもとより、参加者全員にそれぞれの立場の意見を伺い、想像力、発想力が養われたことを感じます。

Q 現場で

過去、出来ていなかった総合的な中長期計画や、就業規則、賃金規定等の労務管理規程の変更などを立案するにあたり、当該プログラムで学んだ事項が非常に役に立っていると思います。また何より、課題に接したとき、他の参加者の方々に相談できることが、何よりもよかったと感じています。

Q もう少し学びたかったこと

コロナ禍の中、短期・中長期的にも、医療機関においては、ますます厳しい経営環境が予想されます。高知県の一医療機関として、地域に貢献できる病院であるべく、職員が職場で生き生き働ける環境を確保する戦略等をもっと深く学びたいです。

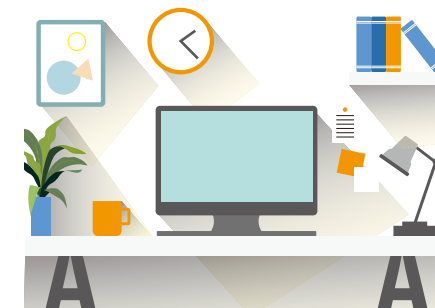
事務

社会医療法人 仁栄会
島津病院 事務部
西村 大和 経理部長
にしむら たいわ



オンライン授業についてアンケートをとりました

2020年度週末セミナー(6・9月)後のアンケート集計結果より



メリット

- 自分の落ち着いた環境で学習できる。
- 移動時間のロスがない。
- 資料を画面で見ながら講義を聞くことができ理解しやすい。
- 講師の声とスライドに集中できるため、学びやすい。
- 勤務時間いっぱいまで仕事をした後でそのまま参加できるのでとても助かった。
- 講義の録画映像が確認できるので復習が簡単にできる所がとても良い。
- マンツーマンで受けている感じで集中できた。
- リアル講義と何ら遜色なく、挙手してから発言すれば声も重なりませんでした。
- わからない言葉が出てくると、リアルタイムで検索でき、より理解が深まった。
- 表情が見えにくいため、発言のトーンなど注意を払うようになった

移動する必要がない、後から動画を見返し復習できるという意見が多くありました。

気づき

- やはり自宅という環境だったので集中力にける場面もありました。
- 顔出しをすることは本当は苦手なのですが、少しの時間のディスカッションでも顔を出してするとしなないとでは、後の充実感が異なることに気づいた。
- 慣れの問題。ミュート外し忘れ等

講義・演習の感想

- いろんな職種の方の意見も聞くことができ、参考になった。
- 双方向のディスカッションが十分できた。
- 自分の考えを、端的に、明快に伝えようとするため、よく考えて発言するトレーニングになる。
- 受講生の質問に沿って話をさせていただけたことで、わかりやすく、さらに興味のわく授業だった。
- 事実をしっかりとらえることの重要性を改めて学習できました。
- 臨床で実践していることの理論的裏付けを知ることができた。
- 初日の講義では、まさしく事業を展開するための外的な要因や、内的な要因を学ぶことができた。早速、自施設に置き換えて思考するようにしています。
- 財務会計は日頃聞きなれない用語が多く、ついていくのが大変でしたが、財務分析の視点を学ぶことができた事は大きな収穫でした。
- 病院財務分析:財務諸表を読めるようになりたいと思っていたので、良い学びができた。人材組織・FFS理論:臨床ですぐに使える内容、興味深い内容だった。
- 病院財務分析は知識を再確認することができ、組織行動論は自身を振り返る良い契機となった。
- 経営のことはもちろんですが、チームに関するマネジメントやリーダーシップなど、大変勉強になります。
- 実際に直面するような内容ばかりで、大変参考になりました。
- 職種により考え方も観点も全く違うと改めて思いました。大病院の現状等もディスカッション中に教えていただいたり、とても興味深かったです。
- 大変楽しく、時間が短く感じました。



(徳島)
医療法人きたじま岡山会
きたじま田岡病院
脳神経外科
里見 淳一郎 病院長



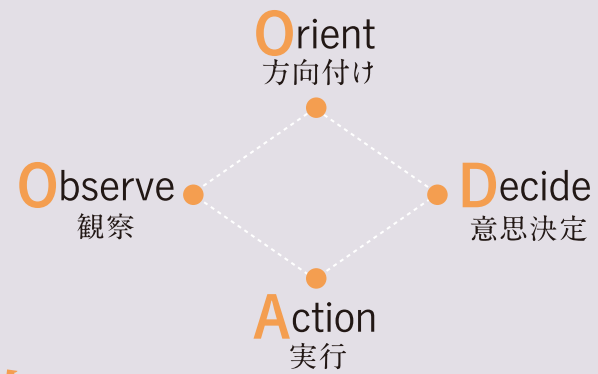
高知県・高知市病院企業団立
高知医療センター
看護局
田鍋 雅子 看護局長



社会医療法人 仁生会
細木病院
企画課
門田 紘和 課長

第1期生3名に訊きました

OODAの具体的な実践例



テーマを「既存組織の強化とあらたな事業展開の試み」として取り組みを行いました。



医師 里見 淳一郎
さとみ じゅんいちろう

自身が地域中核病院の病院長として赴任することが決まった時期に案内をみたのが、本プログラム受講のきっかけでした。本プログラムの週末セミナー、特にケースを中心にディスカッションを行う演習は臨床現場にすぐ応用できる実践的な内容でした。自身のテーマを【既存組織の強化とあらたな事業展開の試み】とし、以下の取り組みを行いました。Observe（観察）により、以下のような問題点が明らかとなりました。（病院全体業務に対する医師の関与が少ない。各診療科の診療実績が見える化されていない。職員の労働環境、満足度、病院に対する思いが不明。）そこで、Orient（状況判断、方向

づけ）として、新規入退院患者数、ならびに診療科別実績を調査し、Decide（意思決定）、Act（行動）として、毎朝の医局会で実績を報告、目標値設定を行いました。病院職員全員に、欠点を補う取り組み（穴埋め作業）と、新たな事業の提案（植樹作業）の2つに分けてアンケートを行い、職員全体での行事取り組み、組織改革を行っています。

今後について

コロナ禍を病院経営におけるパラダイムシフトの大きなきっかけと捉え、既存システムの見直し、無駄の排除、例えば、外来待ち時間解消の取り組みとして、完全予約診療、新患外来、会計システム改変、オンライン診療、タスクシェアの推進を進めたいと考えております。また、アフターコロナも必要不可欠な部門である救急、在宅診療の拡充に努め、持続可能な体力を持ち合わせた医療機関を目指したいと考えております。

病院実習として変則2交代制勤務の導入に取り組みました。



看護師 田鍋 雅子
たなべ まさこ

受講した年は、統合・開院の前から続いてきた3交代制勤務を見直し、新たな交代制勤務を導入する年でしたので、病院実習として変則2交代制勤務の導入に取り組みました。「取り組みたい！」という部署責任者とともに、業務計画の変更や業務改善に取り組み準備をしてきた5部署から取り組みを始めました。実習中は、OODAを意識し、部署をラウンドしながら直接スタッフの話を聴き（Observe：観察）、大事にしていることを伝え（Orient：方向づけ）、改善できる点はないか、スタッフから提案してもらうよう声をかけるようにしました。各

部署で、改善策を決定し（Decide：意思決定）、試行し（Act：行動）、また、はじめのサイクルに戻りループを重ねるように助言しました。結果として、試行期間を経て本格実施することができました。昨年度は9部署が本格実施に至り、本年度は3部署が新たに試行に取り組んでいます。

今後について

まだまだ病院経営に関して学んだことを自在に使いこなせるまでは至っていませんが、いろんな職種の立場に立って多角的に物事を捉え、学んだフレームワークを使って分析すること続け、自施設の経営課題や意思決定に活かしたいです。様々な改善や改革、意思決定の際には理論を活用してエビデンスのある実践を展開するとともに、人材育成に活用したいと考えています。

主な取り組みは中期計画の見直しと新規事業への取り組みです。



事務 門田 紘和
かどた ひろかず

2019年度の主な取り組みは、中期計画の見直しと新規事業への取り組みです。

1. Observe／当院では、以前より中期計画に取り組んでおります。しかし、2018年度に監査法人監査が開始となり、会計基準等の変更がありました。そして、2019年度は、同監査最初の決算報告がなされた年となり、中期計画の見直しとなりました。
2. Orient／この影響は、期間比較が難しくなり、中期計画の目標値の再検討をすることになりました。
3. Decide／再検討された目標値達成のため、2018年度の影響要因とそれへの対応、今後の具体的な取り組みの洗い出しを行いました。
4. Act／事務部長を中心に関係部署を集めて検討を行いました。その中で、私は、主に提案や検討された項目の取りまとめ、

承認機関へ向けての収支5か年計画書（案）を作成しました。5. Observe／（第1次）中期計画は、無事承認されました。しかし、今後の課題は、より財務諸表に繋がるように、取組みを数値化することと、新たな事業の追加（ハートセンター立上げ）を行うため、事業計画およびそれを含んだ（第2次）中期計画書の作成へ至ったことです。（下期へ続く。）

今後について

今後の挑戦は、2つです。まずは、受講テーマである“現場と経営が結びつくマネジメント”の次の一歩です。例えば、現場の取り組みを数値化し、会議等で指標とする仕組み作りです。次に、マネジメントに関する仲間を作ることです。例えば、院内勉強会をするなど繋がりを増やし、院内外でそうした仕組みができればと思います。まずは小さなことから取り組みを開始し、結果を残していきたいと思っています。

募集要項概要

募集人数 15名

受講期間 2021年4月～2022年3月(1年間)

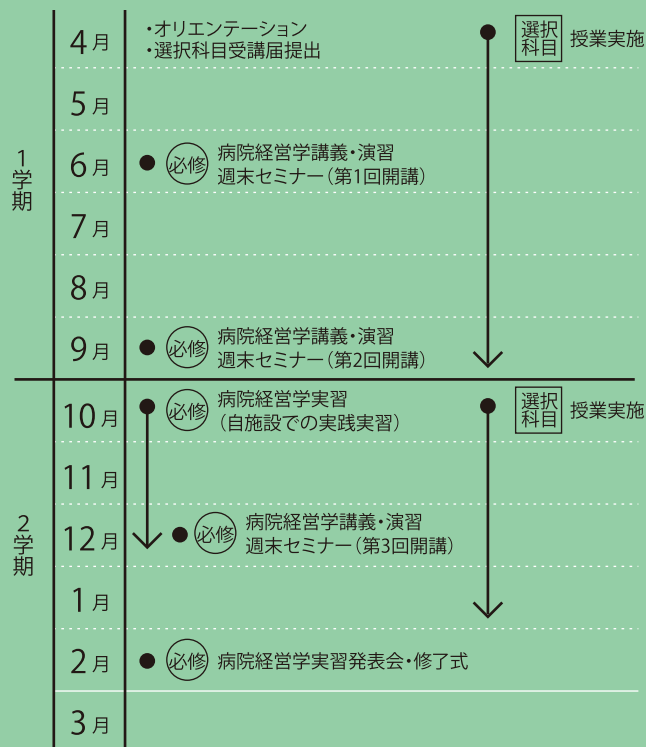
受講場所 主として高知大学医学部(高知県南国市岡豊町小蓮)

応募方法 選考料を振込のうえ、次の応募書類を添えて
郵送にてお申し込みください。

- ①受講申請書(本プログラム所定の用紙による。)
- ②履歴事項(本プログラム所定の用紙による。)
- ③志望の動機(本プログラム所定の用紙による。)
- ④最終出身学校卒業(修了)証明書
- ⑤振替払込請求書兼受領証の写し(選考料振込時のもの)
- ⑥結果通知送付用封筒(表に住所・氏名を記入し、
84円分の切手を貼付した長形3号の封筒)

募集期間 2020年11月24日(火)～2020年12月21日(月) [必着]

2021年度 スケジュール(予定)



〈資料請求先・問い合わせ先〉

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮 高知大学医学部・病院事務部学生課大学院係 四国病院経営プログラム担当

TEL:088-880-2290 / FAX:088-880-2264 Email: hmp4@kochi-u.ac.jp